

# 災害支援を考える

## ～熊本県御船保健所派遣を通して～

平成28年7月22日：保健師中央会議

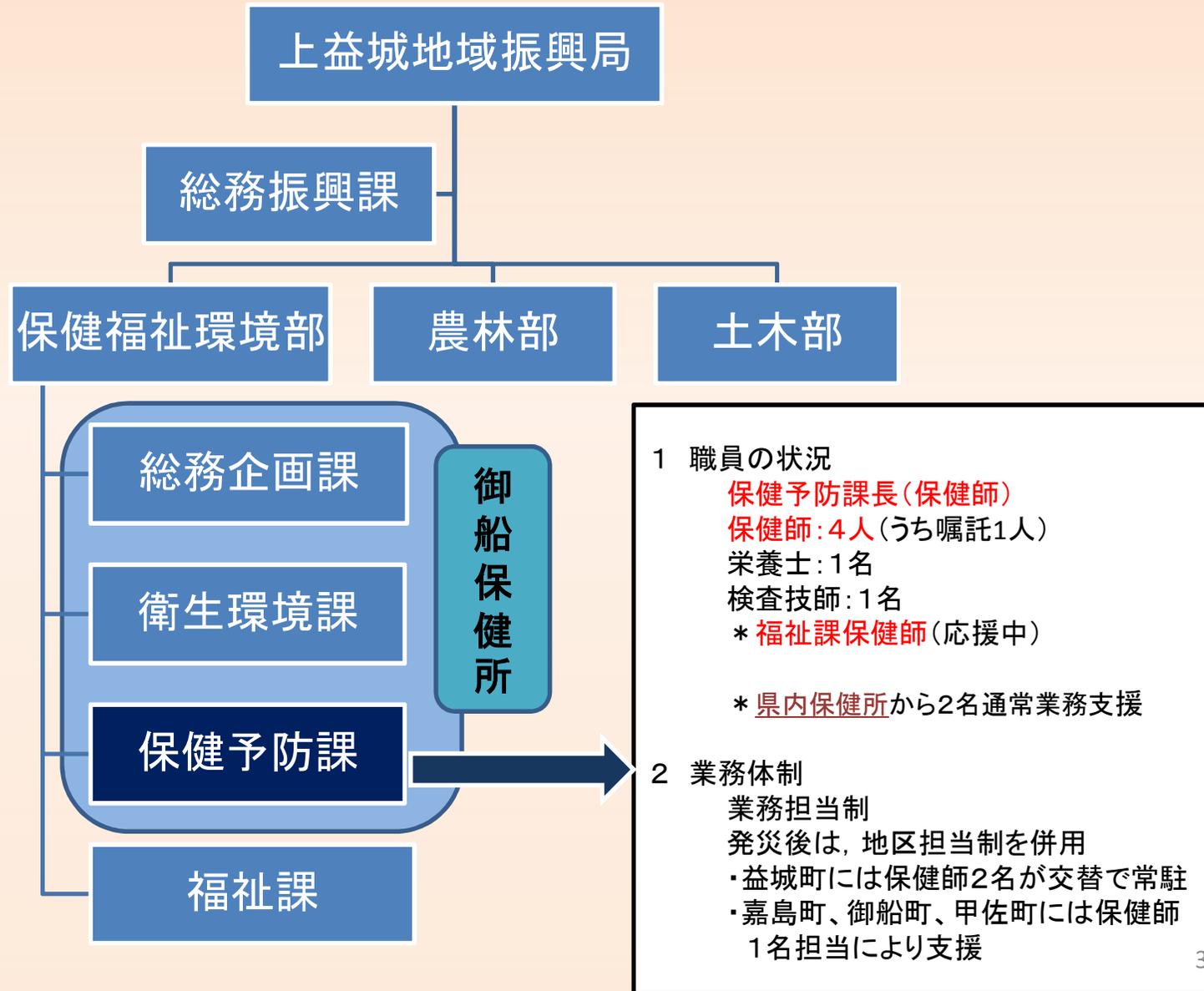
宮城県保健福祉部疾病・感染症対策室

狩野クラ子

# 本日の概要

- 熊本県（御船保健所）の状況
- 宮城県の派遣状況
- 宮城県の保健師の活動状況
- 保健師の支援活動を振り返って
- 今後に向けて
- まとめ

# 御船保健所の状況



# 御船保健所管内の被災状況(5/19時点)

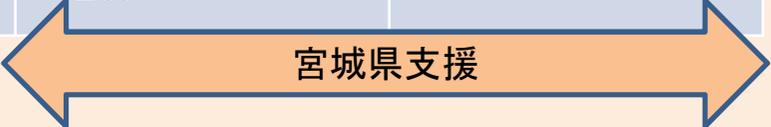
町名	人口	避難 所数	避難 者数	負傷者等			家屋被害		
				死者	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部
御船町	17,477	18	600	2	4	10	215	220	387
嘉島町	8,959	5	521	2	0	0	266	289	1,710
益城町	33,386	15	3,228	21	6	3	1,026	4,374	
甲佐町	10,926	5	23	0	3	1	1	100	9
山都町	15,378	1	20	0	0	0	2	39	0
管内	86,096	44	4,392	25	13	14	1,510	7,128	

# 御船保健所への支援チーム

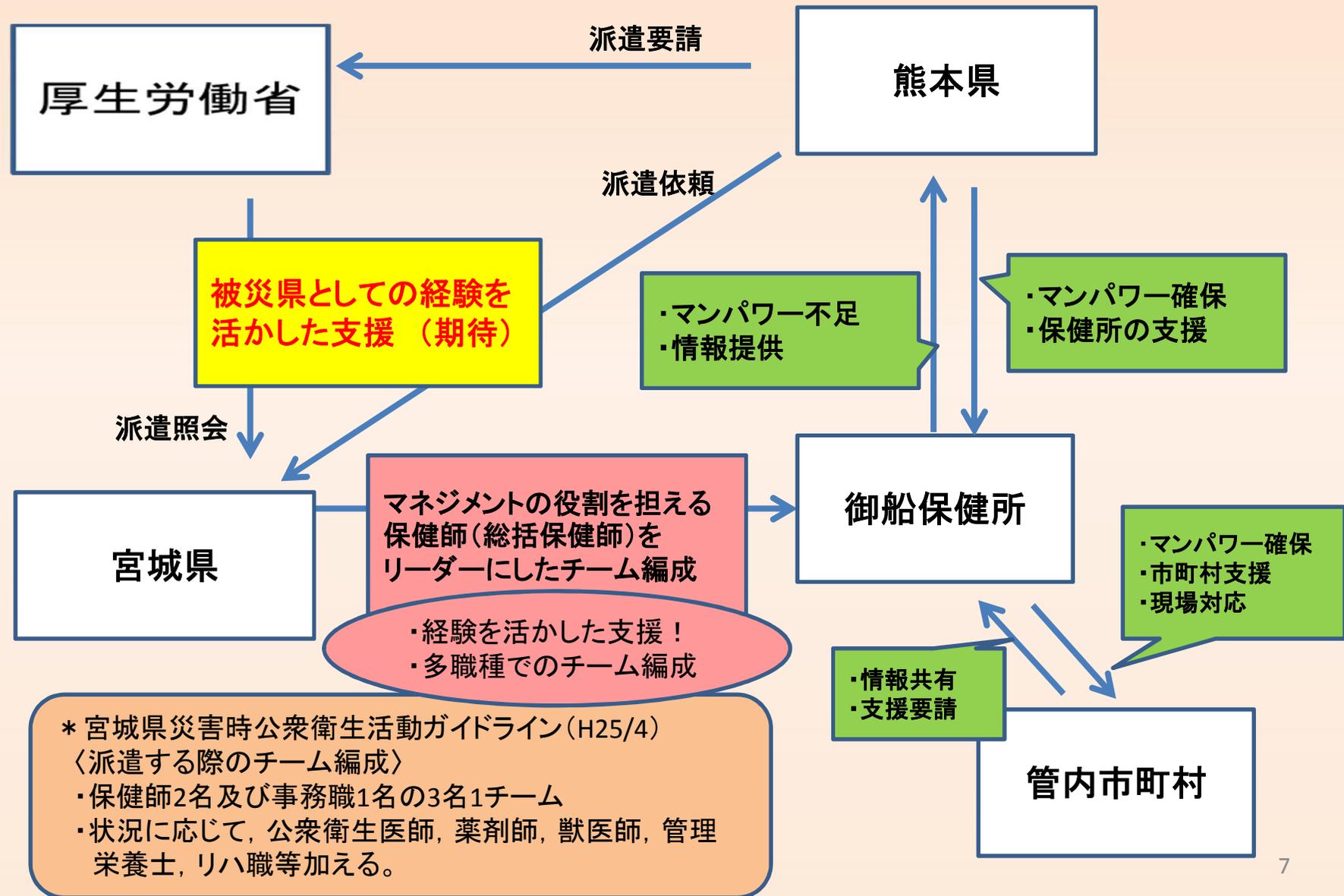
都道府県	派遣経路	期間	チーム構成 ※職種及び人数は期間中の 最大数を計上	備考
宮城県	厚生労働省	4/22～7/1	<別ページに詳細記載>	
東京都	全国知事会	4/25～5/30	公衆衛生医師1人, 保健師2人, 事務1人	
岐阜県	厚生労働省	4/29～5/8	保健師2人, 事務1人	5/9～5/20 御船町へ
北海道	厚生労働省	5/4～5/8	保健師3人, 事務1人	5/9～5/20 甲佐町へ
愛知県	厚生労働省	6/1～7/1	公衆衛生医師1人, 保健師2人, 獣医師1人, 薬剤師1人, 歯科 衛生士1人	

# フェーズ各期の保健活動

	フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
	初動体制の確立	緊急対策	応急対策	応急対策
	24時間以内	72時間以内	避難所対策が中心	避難所から仮設住宅入居まで
			生活の安定	生活の安定
県庁	情報収集と情報提供 職員等の確保と整備等	6月中旬から仮設住宅の入居開始	広域的・総合的な情報収集と提供 部内の関係課との連携強化 応援保健師の派遣計画見直し等	
保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集と支援方法の決定</li> <li>・人的支援の調整と派遣</li> <li>・安否確認 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集と支援方針の決定（派遣による収集・分析等）</li> <li>・救命・救護</li> <li>・心のケアチームとの連携</li> <li>・安否確認 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画の策定と実施（市町村活動計画に基づき支援/平常時への回復支援等）</li> <li>・心のケアチームとの連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のケアチームとの連携</li> <li>・職員の健康管理</li> <li>・定期的な管内連絡会議等の開催</li> </ul>



# 宮城県への要望・期待



# 宮城県の派遣状況①

## (1) 派遣期間(71日間)

平成28年4月22日(金)～7月1日(金)

《実働は6月30日(木)まで》

1班あたり6泊7日(一班のみ5泊6日)

## (2) 派遣人数(実56人)

1班あたり3～6人

(保健師2人, 管理栄養士1人, 薬剤師1人,  
獣医師1人, 事務職1～2人) × 15班

## (3) 活動場所

熊本県健康福祉部健康づくり推進課,  
御船保健所,  
御船保健所管内

## 宮城県の派遣状況②

実56人（うち保健師 実30人 延208人）

第1～3班	保健師2人，管理栄養士1人，事務1人
第4班	保健師2人，管理栄養士1人，薬剤師1人，獣医師1人，事務1人
第5班	保健師2人，薬剤師1人，獣医師1人，事務1人
第6班	保健師2人，薬剤師1人，獣医師1人，事務2人
第7～15班	保健師2人，事務1人

# 保健師活動について

（＊以後は，保健師活動を中心に報告します。）

# 保健師等の派遣状況

4/22～5/18

派遣日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目
A班	移動	活動① 引受	活動②	活動③	活動④	活動⑤ 引継	移動				
B班					移動	活動① 引受	活動②	活動③	活動④	活動⑤ 引継	移動

※1回あたりの派遣期間は6泊7日。活動の初日(①)は引受, 最終日(⑤)は引継を行う。

5/18～7/1

派遣日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目
C班	移動			活動③	活動④	活動⑤ 引継	移動					
D班						移動 引受	活動①	活動②	活動③	活動④	活動⑤ 引継	移動

※1回あたりの派遣期間は6泊7日。移動日に引受, 最終日(⑤)に引継を行う。

6月派遣のリーダー  
保健師との情報共有と  
打ち合わせ(6/3)

# 保健師の活動状況①

4/22～5/1(県庁・御船保健所)

## ◆ 保健所管内の課題のとりまとめと支援方針の検討

### 活動内容

- ・県庁の本部会議に出席し、情報提供
- ・避難所データ入力及び入力システムの構築
- ・支援体制の見える化
  - 「災害時保健活動関係図」の作成・提供(次ページ)
- ・実働体制等についての助言・検討
- ・避難所や管内巡回同行による情報把握や助言
- ・支援チームの中での役割分担や情報共有のための見える化
- ・保健所内「被災者支援チームカンファレンス」の運営支援

県庁保健師からの要望

「全体の関係が一見してわかり、他の部署にも示せるもの」

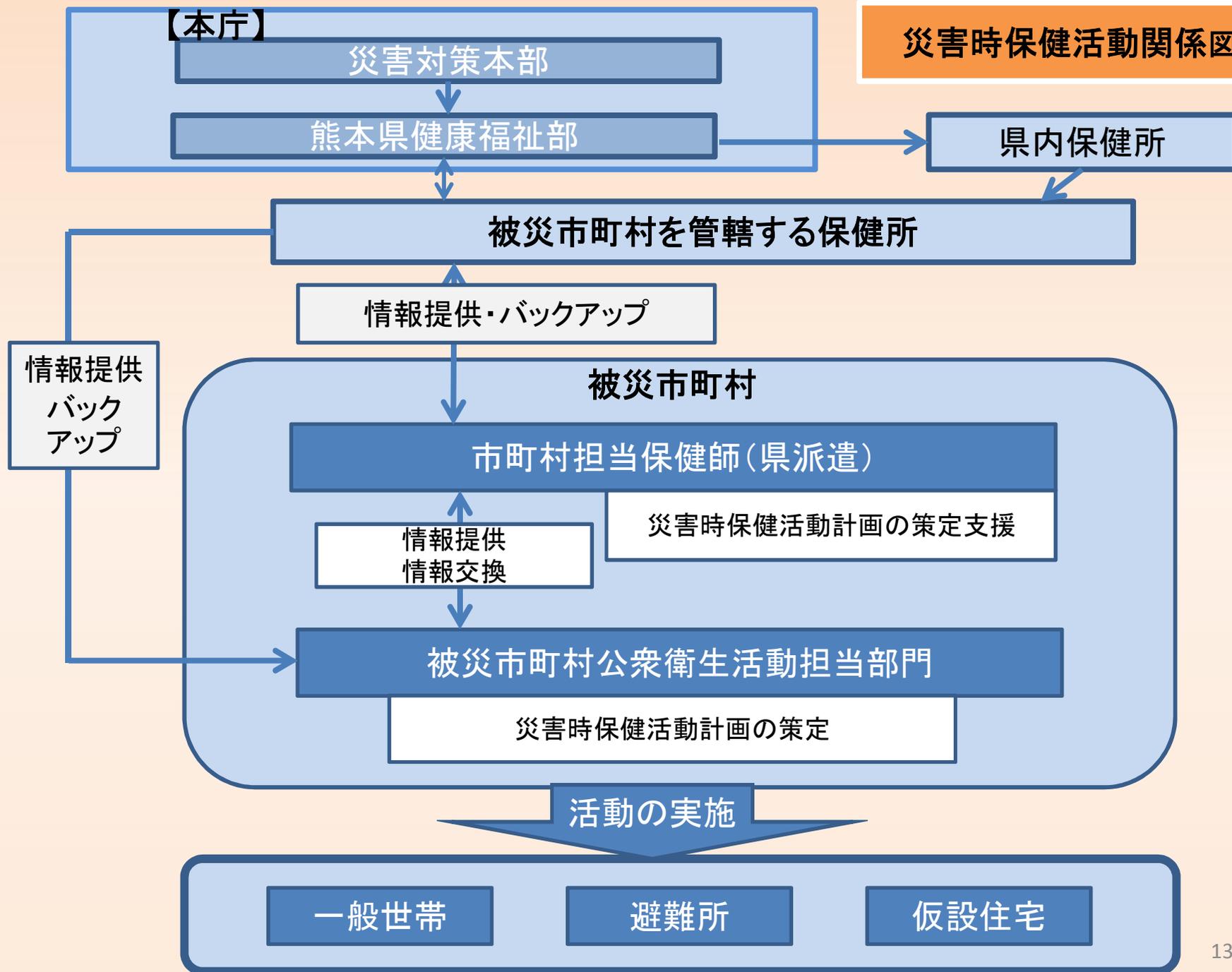
\* ガイドラインに掲載の図を改編

### 体制

総括クラス

技術主査以上(経験10年以上)

災害時保健活動関係図



# 初めての所内打ち合わせ(4/26, 4/27) ～支援体制の確立に向けて～

- 管内情報の整理と活動体制の構築(活動方針)

【地域基礎状況整理票の活用】(次スライド参照)

## 情報の共有と活動方針の検討

- 東京都:感染症対策を中心に保健所機能の発揮をサポート(インフルエンザやおたふく風邪等)
- 宮城県:東日本大震災の経験を活かし地域全体を見渡した被災者支援体制構築支援
- 御船HC:各町の状況に合わせた支援体制づくり  
(益城町への保健師二人体制の派遣、御船町地区担当保健師派遣)

**【地域基礎状況整理票】**(宮城県災害時保健活動マニュアル H25/4)

使用者 : 被災市町村にコーディネーターとして派遣される県保健師・事務職

使用目的 : ①公衆衛生スタッフの応援・派遣要請の判断に必要な情報の収集  
②災害時保健活動計画の策定に必要な情報の収集

収集方法 : 市町村災害対策本部や市町村での対応協議の場への参画等

**地域基礎状況整理表(コーディネータ用)**

**フェーズ0~1**

・災害発生後の地域の健康課題を把握・解決するための災害時保健活動計画の策定や災害時保健活動に必要な人員の算定に必要な情報を収集するための様式である。

地域名		記録日時		記録者 (立場)	
		年	月	日	時
被害状況	死者数	人	行方不明者数	人	対策本部の組織(数・場所)
	負傷者数	人	その他(住民の様子・家屋状況・がけ崩れ等)		
住民の避難状況	避難所数	ヶ所(備考)	避難している人の状況		避難所等で不足している備品, 物品
	場所:				
組織的活動状況	班・組織づくり、リーダーの有無等の状況				組織活動等の状況
	仮設住宅の	戸	予定時期		

今回、地域の全体像を把握し、スタッフ間で共有するための一覧表作成に使用

# 保健師の活動状況②

5/1～5/9(県庁・御船保健所)

◆県庁と保健所間のパイプ役

◆保健所・町の課題や求めに応じた情報提供・助言

◆感染症への対応

## 活動内容

- ・県庁健康づくり推進課会議へ出席し、情報提供
- ・避難所で発生した水痘等への対応(他の支援チームと連携)
- ・各町担当保健師の活動支援  
(保健活動ミーティングへの同行や町保健師からの相談への助言)
- ・外部からの提案等に対する対応について相談助言
- ・保健所内の情報共有について提案
- ・保健所内「被災者支援チームカンファレンス」の運営支援

体制:総括クラス

技術次長以上(経験27年以上)

# 保健師の活動状況③

5/9～5/31（御船保健所）

◆所内での情報共有と保健所ロードマップ作成への支援

◆保健所・町の課題や求めに応じた情報提供・助言

## 活動内容

- ・所内情報共有のための場面設定支援及び所内打合せでの助言
- ・避難所で発生した感染症への対応（他の支援チームと連携）
- ・在宅被災者の健康調査に関する調整・助言
- ・各町担当保健師の活動支援
- ・保健所ロードマップ作成に向けた情報提供
- ・外部からの提案等に対する対応について相談助言
- ・保健所内「被災者支援チームカンファレンス」の運営支援
- ・県庁への情報提供

体制：総括クラス

技術主査以上（経験13年以上）

# 保健師の活動状況④

6/1～6/30(御船保健所)

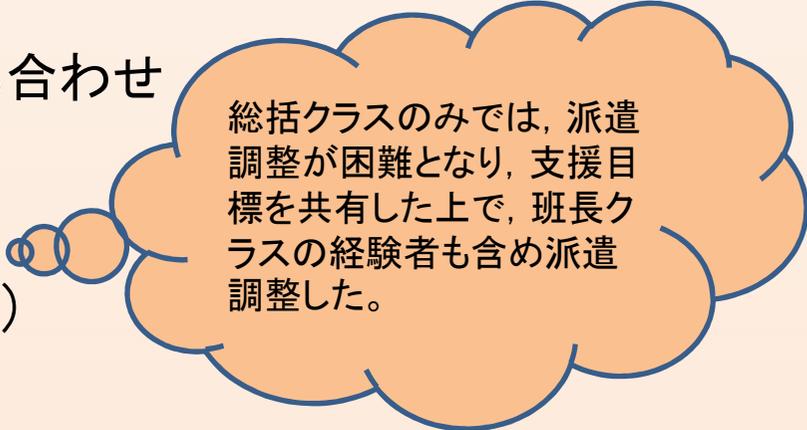
## ◆ 保健所ロードマップの作成と管内保健師等との共有への支援

### 活動内容

- ・保健所のロードマップ作成支援
- ・管内保健師研修会開催への支援及び話題提供
- ・各町担当保健師の活動支援
- ・管内情報の把握と資料化
- ・宮城県撤退に向けた保健所との打ち合わせ

体制：総括～班長クラス

技師～技術主幹(5～26年目)

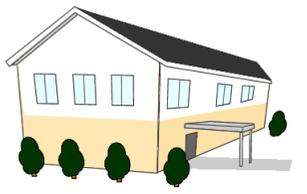


総括クラスのみでは、派遣調整が困難となり、支援目標を共有した上で、班長クラスの経験者も含め派遣調整した。

# 熊本地震・中長期の支援(避難所から仮設住宅等へ)

## 管内各町

- ・通常業務再開に向けた取り組み
- ・地元資源を活用した健康管理体制の構築
- ・住民の自治体制の育成

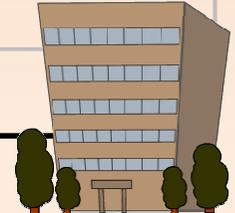


## <課題>

- 被災者支援活動のためのマンパワー不足

## 熊本県(本庁)

- ・県の被災者支援方針の提示
- ・被災保健所への人員体制の強化(オール熊本で長期的な応援)
- ・情報共有のための定期的な会議の開催



## 御船保健所

- ・管内各町の**課題の把握** → **報告・共有**
- ・ ⇒ 各町の担当保健師を決めて通常業務再開に向けた支援を継続
- ・「把握した課題の整理」→「計画(被災者支援方針)の立案」→「評価」という**一連のマネジメントを所内で共有**して進める
- ・ ⇒ 定期的に会議を開催する(**共有・見える化**)

## 宮城県チームの役割(保健所支援)

- 東日本大震災の経験を踏まえた情報提供及び助言(先を見据えた情報提供)
- 被災者支援活動の調整役であるリーダーの補佐(被災保健所の人員体制が強化されるまでのつなぎ役)
- 地区担当保健師の支援(特に若手保健師のサポート)

## 益城町の様子



## 益城町の様子



## 御船保健所入口(2階建て)

入口フロアは、衛生資材等置き場となっている。被災により、使用できない設備あり。

熊本県御船保健所



# 管内の地図(2階にミーティング場所に掲示)



H28.5.1 (日) 本日のスケジュール

9:00 派遣チーム 今日活動確認

<東京>

9:30 エキース

10:30 三軒茶屋 総合センター

16:30 ハピネス

10:00 本町三丁目 調査

PM 本町三丁目 益城町へ(1100歩)

<宮城>

○ 3班引き続き

○ 10:00 → 遠藤 岩瀬 尾形

益城 御舟台 活動316世

○ 13:00 - 現地確認

16:00 - 御舟台チーム会議 (前田 佐藤 2人)

15:30 - 益城 (10人/佐藤)

<山梨県> 御舟台 現地活動再開



## その日の管内状況を情報共有するためのボード(一部拡大)

H28.4.29(金)

益城 Iニース(避難所)  
 ○インフルB 4人 80代男女  
 → Iニース内隔離  
 ○予防内服 20人  
 → 体温表記録  
 当西: 東京都保健師社  
 感染症情報把握に努

応援 H-C PHN  
 〆 国田・古川

**感染症発生時対応**

1. 御船保健所に連絡  
TEL: 096-282-0016
2. 保健所 実調の指導

熊本県御船保健所  
 保健所長: 小宮  
 副所長: 隈部(事務)  
 保健予防課長: 山口

- 〆 中川 保健師(応援)
- 〆 古城 " 24日
- 〆 深田 " 24日(25日)
- 〆 田中 " 24日
- 〆 古川 " シェ-研修
- 大宮 管理課長
- 福田 感染対策 事務

応援 H-C 2人 保健師 2名  
 保健師 1名

・ 4月末には管内避難所でインフルエンザが発生したため、その状況なども記載しています。

・ 下に御船保健所スタッフの皆様のお名前もあります。

# 御船保健所への支援スケジュールのボード

<御船保健所支援チームの活動状況>

	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	
宮城県					①																					
東京都			①						②																	
岐阜県																										
北海道																										

支援スケジュール  
 ① 遠征先 御船  
 ② 遠征先 御船  
 ③ 遠征先 御船  
 ④ 遠征先 御船  
 ⑤ 遠征先 御船  
 ⑥ 遠征先 御船  
 ⑦ 遠征先 御船  
 ⑧ 遠征先 御船  
 ⑨ 遠征先 御船  
 ⑩ 遠征先 御船  
 ⑪ 遠征先 御船  
 ⑫ 遠征先 御船  
 ⑬ 遠征先 御船  
 ⑭ 遠征先 御船  
 ⑮ 遠征先 御船  
 ⑯ 遠征先 御船  
 ⑰ 遠征先 御船  
 ⑱ 遠征先 御船  
 ⑲ 遠征先 御船  
 ⑳ 遠征先 御船  
 ㉑ 遠征先 御船  
 ㉒ 遠征先 御船  
 ㉓ 遠征先 御船  
 ㉔ 遠征先 御船  
 ㉕ 遠征先 御船  
 ㉖ 遠征先 御船  
 ㉗ 遠征先 御船  
 ㉘ 遠征先 御船  
 ㉙ 遠征先 御船  
 ㉚ 遠征先 御船  
 ㉛ 遠征先 御船  
 ㉜ 遠征先 御船  
 ㉝ 遠征先 御船  
 ㉞ 遠征先 御船  
 ㉟ 遠征先 御船  
 ㊱ 遠征先 御船  
 ㊲ 遠征先 御船  
 ㊳ 遠征先 御船  
 ㊴ 遠征先 御船  
 ㊵ 遠征先 御船  
 ㊶ 遠征先 御船  
 ㊷ 遠征先 御船  
 ㊸ 遠征先 御船  
 ㊹ 遠征先 御船  
 ㊺ 遠征先 御船  
 ㊻ 遠征先 御船  
 ㊼ 遠征先 御船  
 ㊽ 遠征先 御船  
 ㊾ 遠征先 御船  
 ㊿ 遠征先 御船

宮城県: 支援チーム、情報提供、HCCの運営、支援活動  
 東京都: 支援チーム、情報提供、HCCの運営  
 岐阜県: 支援チーム、情報提供、HCCの運営  
 北海道: 支援チーム、情報提供、HCCの運営  
 支援時間: 8:40 ~ 御船HCC所内会議(毎日) 場所: 2F 202  
 9:00 ~ 御船HCC所内会議(毎日) 場所: 2F 202  
 情報提供: 10:00 ~ 御船HCC 場所: 2F 202

# 活動を振り返って ①

- 1 県庁や保健所の状況に応じた臨機応変な支援
  - ・ 避難所データ入力支援から、支援体制に関する助言まで
  - ・ 求められている情報、役立つ情報をセレクトし提供
- 2 派遣先の負担の軽減
  - ・ 全体を俯瞰するための資料づくり  
(他の支援チームの行動把握が容易な掲示板、オリエンテーション用の資料、管内の現状把握用の資料作成等)
  - ・ 他県からの派遣チームとの役割分担
- 3 派遣前の支援目標の共有
  - ・ 6月派遣のリーダー保健師を招集し、打ち合わせを行ったことで、支援の目標を共有できた(6/3)

# 活動を振り返って ②

## 4 派遣目的の共有と目的に応じた派遣期間の検討

- 短期間での派遣により派遣先への負担
- 短期間で管内全体を把握することの困難さ
- 被災者支援を含めた保健所の活動体制が整うまでの支援

## 5 活動内容や引き継ぎ方法等の検証

- 「保健所支援」という目的に照らしての活動内容や引き継ぎ方法、引き継ぎ資料等の振り返り
- 複数派遣チームが入った場合の調整や役割分担等



◆ 宮城県災害時公衆衛生活動ガイドライン

◆ 宮城県災害時保健活動マニュアル

見直しと修正

「作って安心」ではなく、「現実に即しているかどうか」の検証  
今回新たに、「保健所支援」という視点での加筆も考慮

# 今後に向けて ①

## 1 研修の体系化と訓練の継続

- ・ 「百聞は一見にしかず」だが、震災体験には限界
- ・ 伝承も含めた保健師の人材育成（体験者の退職）
- ・ 指名している派遣（予定）者への実務的な研修
- ・ 震災モードへのギアの切り替えに備える
- ・ シミュレーション等による実践に近い訓練

\* 震災体験を、今後につなげる！（風化させない）

# 今後に向けて ②

## 2 日常活動の中でのスキルアップ(OJT)

- 個別支援
- 組織マネジメント
- 日頃のリスクアセスメント …

観察力, 判断力, 予測力, 実行力, 情報収集能力等  
自分自身のスキルアップ

(指示する人が、いつもいるとは限らない)



平時にできないことは、有事にもできない

# 今後に向けて ③

## 3 ネットワークの重要性

(日頃から顔の見える関係を)

- 東日本大震災3月，熊本地震4月
- 地区担当制の併用
- 組織同士のつながり
- 公衆衛生活動チームとしての平時からのつながり

# まとめ

- 災害時の公衆衛生チーム活動は支援する側にも、大きな学びとつながりを作りました



災害時支援のフェーズを踏まえ  
現場で起きていることを把握し  
健康・生活を脅かすリスクを軽減・除去していくことが基本



保健師として共通  
の思い

- 今回の派遣からの学びを、今後の災害対応の力に！